

2024年2月25日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

## 神奈川イグレンニュース〈第239号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町580 神奈川中小企業センタービル7F

TEL/FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

（目次）

- 中国発の「底冷え不況」に一抹の不安 （1頁）

アジアビジネス探索者増田辰弘

- 川崎異業種研究会羽田空港 ANA 研修施設視察会 （2頁）

- 川崎異業種研究会 10月定例会 （3頁）

「自治体初！川崎市が取り組む短時間雇用プロジェクト～企業からの事例紹介～」

- 「第102回西湘サロン開催」 （4頁）

～任意後見・遺言・相続について～

### 【テクニカルショウヨコハマ 2024 会場風景】



# 中国発の「底冷え不況」に一抔の不安

アジアビジネス探索者増田辰弘

中国人の元ゼミ生から貴重な報告が入った。

「今の中国の不況は、見たことも聞いたこともないほど深刻です。家電量販店にも、スーパーマーケットにも、レストランにもお客がいません。大学を卒業しても半分は就職できません（中国国家统计局の発表では、都市部の16歳から24歳の若者の失業率は20%程度だが、北京大学国家発展研究院の張丹丹副教授は就職活動をしていない潜在的な失業者を加えると46.5%に達すると試算する。中国政府は今後、若者の失業率は発表しないとしている）。不動産はまったく売れていません。自動車や家電もあまり売れておらず、発表された販売数は信用しないほうがいいです。人、モノ、金が動かない冷凍庫の中にいるような底冷え不況です」

この元ゼミ生の報告は街の声であり、ほぼ事実であろう。中国政府は現在、巧みな政策で不況が表面化しないようにしている。例えば、不動産大手の恒大集団の負債総額は約47兆円、債務超過額は10兆円を超えているともいわれるが、どうかたちになるにせよ破産はさせない。大規模な倒産やリストラを生じさせずに経済を回復させる政策である。

地方の政府や企業でも大きなリストラは行わずに新規採用を控える、給料の2割カットや遅延は起こるがきちんと支払いは続ける。ともかく表面的には何事もなかったかのように見せることに、細心の注意を払い腐心している。

このため中国発の不況は、かつてのリーマンショックのように直ちに世界に波及することにはならないと思われる。まさに底冷えだから、じわりと効いてくる。これからしばらくは日本経済も中国からの影響を覚悟しなければならない。

しかし、このやり方では国民に不満がたまることも事実である。例えば、恒大集団は買い主からお金を集めたものの、約70万戸が完成していないとされ、不動産業全体では未完成の住宅が約1000万戸はあるといわれている。買い主は、いつ完成するとも分からない住宅のために銀行にローンを払い続けねばならない。

同様に、地方政府傘下の投資会社である全国の融資平台も、オフィスビルやマンションビジネスが崩壊し行き詰まった。その負債総額が約1300兆円で、これも「私の投資した金を返してくれ」という話になる。まさに追い風が逆風に変わった。これまで巧みに多くの修羅場をくぐり抜けてきた中国政府だが、今回だけは一抔の不安が残る。

(編集ご担当の許可をいただいて週刊BCN 2023年10月23日 vol.1989 視点より転載)

## 川崎異業種研究会 羽田空港 ANA 研修施設など視察会を実施

川崎異業種研究会では、6月8日（木）、14名の参加者を得て、羽田空港 ANA 研修施設「ANA Blue Base Tour」をはじめ、羽田空港周辺での視察会を行った。

当日は川崎駅集合後、貸切バスにて「ANA Blue Base Tour」に移動。現役の客室乗務員による説明付きの視察を行った。同施設は客室乗務員や整備士、貨物スタッフ等、航空運営に不可欠な6職種のANAグループ総合トレーニングセンターとなっており、旅客機実物大模型による緊急脱出スライド（滑り台）、パイロットのフライトシミュレーター、AEDの使用など、実際の訓練光景について、一部撮影禁止ではあったが、臨場感あふれる見学をすることができた。施設内には、随所に各スタッフの制服等展示品、コックピット、チェックインカウンター、ビジネスクラスシートが実物展示されており、説明者の軽妙闊達で分かりやすい説明と相まって、参加者からは大変好評を博した。

続けて「羽田イノベーションシティ」に移動して、ピオパーク（交流スペース）や足湯などの館内施設を自由見学した後、羽田空港第2ターミナルに移動し、空港内を自由見学した。

最後に、羽田エクセルホテル東急内カフェ&ダイニング「フライヤーズテーブル」にて懇親会を実施。会員同士交流を深めるとともに、今後の当会活動について活発な意見交換を行ない、大変有意義な視察会となった。



「ANA Blue Base Tour」集合写真



「ジャンボ機コックピットの実物展示」



「離発着機を間近に臨む「羽田イノベーションシティ」

## 川崎異業種研究会 10月定例会を開催

川崎異業種研究会では、10月12日（木）、川崎商工会議所会議室にて「自治体初！川崎市が取り組む短時間雇用プロジェクト～企業からの事例紹介～」をテーマとして、10月定例会を開催した。

はじめに、川崎市健康福祉局雇用就労推進担当係長 衿宜正太郎氏より、全国に先んじて導入した「短時間雇用プロジェクト」について、週20時間未満であれば働ける障害者等や雇用する企業に対し、求人開拓等の支援を行う制度の説明があり、続いて、企業応援センターかわさき所長 荒木伸義氏より、同プロジェクトでは障害者等が個々の状況に応じた短時間労働ができ、受入企業が障害者雇用促進制度における助成金の活用や人材・人件費の有効活用ができるなどのメリットについて説明がなされた。

また、本プロジェクトの実例紹介として、サンエレメント(株) 代表取締役 石村秀雄氏より30年以上前から継続している障害者雇用の経験に基づいた短時間雇用について、紹介があった。

参加者は障害者雇用の現状について熱心に聴き入り、講演会後も質疑応答が行われるなど、大変有意義な定例会となった。

定例会後は懇親会に移り、講師と会員に加えて、体験入会の方も加わり、活発な情報交換と交流を図ることができた。



(障害者雇用の現状を学ぶ)

(懇親会により交流を深める)

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」

# 第 102 回西湘サロン開催のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

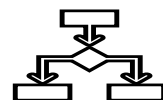
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階

【日時】：2024年3月11日（月） 午後6時30分～8時00分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センターUMECO (TEL:0465-24-6611)

【会費】：参加費 500円（当日）

\* 次回 103 回予定：2024年5月13日（月） 18:30～ 場所：UMECO



1. 話題：**任意後見・遺言・相続**

雑賀行政書士事務所 雑賀氏

高齢化社会を迎え、自分自身の財産管理や生活に不安を感じることがあるかと思います。そこで、今回はその道の専門家に 任意後見、遺言、相続等についてお話しをします。

2. 情報交換会

話題提供の後 UMECO の向かいにある河野国際特許事務所小田原支所（弁理士 穂坂先生の事務所）に移動して、軽く飲食し、情報交換を行います。

3. UMECO の場所



JR 小田原駅東口より徒歩約 2 分です。

住所：小田原市栄町一丁目 1 番 27 号（駅東口駐車場 1 階）  
(TEL :0465-24-6611)

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません c c。3 人以上で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。